

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年3月11日

事業所名 放課後等デイサービスセンターばすてる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		体育館等のスペースも活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4		可能な限り段差をなくし、安全を確保して行きます。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1		同じ目標に向かって支援していけるように今後もミーティングを活用して行きます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2		定期的にアンケートを取るようにして、業務改善につなげていくようにします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		外部評価を受ける機会を計画して行きます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		職員のアセスメント力向上の為の研修等を計画し、計画作成につなげて行きます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			振り返りの時間を設け、次回利用時の活動プランを作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			お子様の要望も組み入れながら、様々な活動を今後も取り入れて行きます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			今後も集団活動や個別課題を一人一人に合わせて支援して行きます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			計画に沿った個別活動のほか、事業所としての行事等を組み合わせています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			支援開始前にミーティングを行い情報を共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			その日のうちに情報を共有し翌日の支援へつなげています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			最低6か月に1回のモニタリングのほか、日々の支援や記録から状況によって見直し、変更しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	1		ガイドラインの基本活動を実施しています。今後もお子様に合わせた支援して行きます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）	1	3		当事業所からも働きかけ、積極的に情報を得たいける関係を構築して行きます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4		現在医療的ケアが必要なお客様の利用実績はありませんが、必要に応じて体制を整備して行きます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4		相談事業所からの情報のみならず、今後は関係機関と積極的にかわり、情報を得られるようにして行きます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する	1	3		これまで移行支援会議への参加要請はありませんでしたが、今後学校と連携し卒業後スムーズにサービス提供が行われるようにして行きます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4		自事業所のサービス内容を振り返り、研修や助言等を求めて行きます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		地域の放課後児童クラブや児童館の情報を確認して行きます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	3		今後も継続して参加して行きます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		保護者に対し、支援や助言できるよう職員のスキルアップを図っていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		今年度は計画したが参加が少なかったため、保護者の意向も取り入れて計画して行きます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		4		事業所独自の会報を検討します。
	35	個人情報に十分注意している	4			今後も職員研修等を通じて、意識の向上を図っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			行動や言動等を保護者に伝え、お互いの支援を共有できるようにしています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		地域の方々との交流できる行事を検討して行きます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3		職員への周知しています。今後保護者様にも周知して行きます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			事業所単体の避難訓練は実施していないが、総合避難訓練には参加している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			虐待委員会が設けられ、内部研修を行ったり外部研修に積極的に参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放	4			身体拘束の事例はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		利用前に保護者様へ確認しています。特段の配慮が必要な事例はありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			